

研究課題一覽

「福島県農林水産業の試験研究推進方針（H18～22）」と実施課題の対応表

研究方針 大柱	研究方針 中柱	研究 課題名	小課題名	担当 部署	ページ
安全で付加価値 の高い農林水産 物の生産・加工 技術の開発	安全な農林水産物 生産技術の開発	貝毒被害防止技術に 関する研究	貝毒力と原因プランクトン密度の関係解明	漁場環境部	60
			砂浜性貝類の合理的 利用技術に関する研 究	ホッキガイ資源管理技術の開発（保護水面） アサリ資源増殖技術の開発 アサリ資源増殖技術の開発（ウミグモ寄生状況） アサリ資源増殖技術の開発（ウミグモ駆除）	相馬支場 相馬支場 相馬支場 相馬支場
生態系や環境に 配慮した技術開 発	水産資源の持続的 利用技術の開発	底魚資源の生態・動 態の解明及び管理手 法に関する研究	沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明（モニタリング結果 等）	水産資源部	16
			沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明（メイトガレイ類の 初期成長と漁獲加入時期の推定）	水産資源部	18
			沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明（松川浦における幼 稚魚生息状況調査）	相馬支場	90
			沖合性底魚類の生態と資源動向の記名（マツカワの漁獲実 態）	栽培漁業部	12
			沖合性底魚類の生態と資源動向の解明（新規加入状況）	水産資源部	20
			沖合性底魚類の生態と資源動向の解明（県沖合魚類相の特 徴と季節変化）	水産資源部	22
			沖合性底魚類の生態と資源動向の解明（ミギガレイの分布 特性）	水産資源部	24
			沖合性底魚類の生態と資源動向の解明（ヤナギムシガレイ の資源解析・資源診断）	水産資源部	26
			沖合性底魚類の生態と資源動向の解明（ミギガレイの資源 解析・資源診断）	水産資源部	28
			沖合性底魚類の生態と資源動向の解明（アカガレイの資源 解析）	水産資源部	30
			沖合性底魚類の生態と資源動向の解明（ババガレイの資源 解析）	水産資源部	32

沖合性底魚類の生態と資源動向の解明(ヤリイカの漁獲量推移及び漁場分布)	沖合性底魚類の生態と資源動向の解明(ズワイガニ)	水産資源部 業部	34
	カレイ類資源管理手法の開発(沿岸性カレイ類)	相馬支場	72
	カレイ類資源管理手法の開発(沖合性カレイ類)	水産資源部	36
	カレイ類資源管理手法の開発(ババガレイ漁場形成要因の解析)	水産資源部	38
	マアナゴ資源管理手法の開発	水産資源部	40
	ヒラメ人工種苗放流効果向上技術の確立	相馬支場	74
	アワビ人工種苗放流効果向上技術の確立	栽培漁業部	2
	再生産力の向上を目的としたアワビ類の資源管理・増殖技術の開発	栽培漁業部	4
	ホシガレイ人工種苗放流技術の開発(漁業実態及び放流効果の推定)	栽培漁業部	6
	ホシガレイ人工種苗放流技術の開発(ケージ試験)	相馬支場	104
水産資源の増殖技術に関する研究	種苗放流が多様性に与えるリスクの評価と低減技術の開発	栽培漁業部	106
	秋サケ漁獲動向調査*1	相馬支場	108
	主要浮魚資源動向調査(カゾオ・マグロ類)	栽培漁業部	10
	主要浮魚資源動向調査(カゾオ銘柄別輸送船保存時間別単価の変化)	水産資源部	42
	主要浮魚資源動向調査(サバ類、イワシ類等)	水産資源部	44
	主要浮魚資源動向調査(サンマ)	海洋漁業部	54
	主要浮魚資源動向調査(スルメイカ)	海洋漁業部	56
	海洋基礎生産力と魚類生産の関係解明(LNPネット・新稚魚ネット調査)	相馬支場	92
	コウナゴ等漁場形成要因の解析(クロロフィルa、水温を用いた手法)	漁場環境部	62
	コウナゴ等漁場形成要因の解析(シラス)	漁場環境部	100
海洋基礎生産力と魚類生産の関係に関する研究	人工魚礁効果調査	漁場環境部	102
	海底地形、地質と漁場との関係解明	漁場環境部	68
	磯焼け漁場における藻場回復技術の開発	漁場環境部	70
	沿岸漁場環境調査(漁場環境保全調査(松川浦))	栽培漁業部	8
	生態系を維持・保全するための技術	相馬支場	84

開発	開発	沿岸漁場環境調査(ヒトエグサの芽落ち原因調査) 沿岸漁場環境調査(ヒトエグサ不作に関するアンケート調査結果)	相馬支場 相馬支場	86 88
快速・低コスト ・高品質安定生産のための技術開発	農林水産物の高品質化と一層の省力・低コスト生産のための技術開発	漁獲物の鮮度保持技術に関する研究	漁場環境部	64
地域資源を活用した技術開発・中山間地域支援	地域資源の高度活用技術の開発	県有用水産物の優位性の解明に関する研究	漁場環境部	66
高度な経営管理・情報処理システムの開発	地域の農林水産業を支援する高度解析・予測技術の開発	漁況予測手法の開発 漁況予測技術の開発 に関する研究	海洋漁業部 海洋漁業部 海洋漁業部 海洋漁業部	52 98 48 50

注)*1：秋サケケ来遊資源動向調査の研究課題は平成19年度を以て終了したが、モニタリングは継続しているもので参考実績として掲載した。